

## 本気でチャレンジ みんなで笑顔



## 『こどもの頃の良き思い出に感謝』

先日、インターンシップが終了した大学3年生の次男から電話がありました。

※インターンシップ:学生が企業で実際の仕事や働く環境を体験するプログラム。主に大学生、大学院生が実施する。

人生を決める就職活動をしている学生は、インターンシップを行うことで、自分の専攻分野を活かすように、将来のキャリアに結びつけることができます。また、会社説明会やOB・OG訪問よりも現場で働いている人たちの雰囲気や企業風土を肌で感じることができるようです。人材の確保にむけた企業努力も、大変参考になることが多いです。

さて、そんな人生の岐路を迎えている次男から、「地域のお祭りはいつ？帰って参加しようかな？」という連絡がありました。

本格的な就職活動中の帰省には、親としては複雑な思いが錯綜しました。

帰省の理由は、「みんなに会いたいし、イベントに参加しようかなと思って…」と、いうことでした。

お盆にも帰省しなかった関西にいる彼が、大学の授業、就活、部活、アルバイトetc…、わずかな時間でも帰省して参加したいと思いたくなる地域イベントの魅力を改めて感じました。

幼い頃からお囃子や踊りの指導など、親ができなかったことを地域の方々が指導してくれました。練習後のお菓子やジュースを楽しみにしていたことも思い出されます。約束の時間になっても帰宅しない子や、危険な行為をする子どもたちには、時には厳しく愛情をもって接してくれていました。

だからこそ、この時期になると遠路から帰省して、友人や住民との再開を楽しみに地域のイベントに参加したいという気持ちになるのだと思います。

今では、親の1人として幼い頃から地域のイベントに参加させてきて本当に良かったと思っています。同時に、我が子のように接してくれた地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

私の住む島田市も地域の課題はさまざまです。しかし、そのような状況だからこそ、持続可能な地域イベントが継続できるようにするとともに、郷土を愛する子どもたちを育める教育環境になることを願っています。（文責：相田）

